

第2学年普通科特進クラス(英語コミュニケーションⅡ)学習指導案

指導者

指導担当教員

1. 日時 6月7日(金曜日)5限 13:35-14:25
2. 学年・組 2年13組
3. 場所 2A13教室(5階)
4. 単元名 Heartening English Communication II(桐原書店) Lesson5 Back Ground and Music
5. 単元の目標

(知識及び技能) Grammer(to不定詞、seem/appear to do+現在完了)を理解することで、Background Musicの効果についての文章を正確に読み、理解することが出来る。さらにその文章を要約することができる。また、本科で学んだ文法の知識を元に、英作文することができる。

(思考・判断・表現) 本文の内容である Background Music の効果を理解した上で、Grammer(to不定詞、seem/appear to do+現在完了)を使用して、英語で歌詞を創ることが出来る。また、クラスメイトの前でそれらを表現することができる。

(主体的に学習する態度) 本文を読み、グループの中で積極的に自身の要約文を発表することができる。また、グループで協力して作詞活動を行い、発表することが出来る。与えられた課題を確実に行うことができる。

6. 単元について

(1) 教材観

JAWSなどのサメの映画や映像に使用されているBGMが、サメに対する印象にどのように影響しているかを説明している文章である。BGMがどのような効果や役割を持っているのか、また、特定の場面でどのようなBGMを使うのが効果的なのかを考えることが出来る。Real Life Information というコーナーがあり、日常生活において、実際にどのようにBGMが効果をもたらすかを紹介している。

(2) 生徒観

生徒40人クラス(男子:24人、女子:16人)。元気なクラスでよく盛り上がるクラスである。真面目に学習に取り組む生徒が多い。文法など、正確に英文を分析しまとめることができるなど、個々の能力は高い。その一方、出来ているのに自信がない生徒が多く、肯定感が低い傾向にある。会話文作成などの際、まず日本語での会話文を作成することが苦手な様子が見受けられるなど、創造的な活動が苦手である。また、プレゼンテーションを行う際にも、内容と資料の質は高いがアイコンタクトやジェスチャーなどパフォーマンス面が苦手な特徴がある。

(3) 指導観

本授業は英語コミュニケーションⅡということもあり、言語活動を主体とした授業を展開するとともに、WTC(Willingness to communicate)を向上できるかつ、英語に対してモチベーションが上がる授業を展開することを目指した授業を行っていく。また、本授業では上記の生徒観で述べた「創造力」と「パフォーマンス力」の向上を伸ばすことも目的とし発表活動を行い、生徒が成功体験を得られることと肯定感や効力感を身に着けることを目標とする。

		<p>→メインのアクティビティへの導入も込めて行う。</p> <p>→音節など意識して作成するトレーニングにもなる。</p> <p>・テーマは「名オリに向けての意気込み」で歌詞を作成することを体験してみる。</p>		
	Activity 導入 準備 (25分)	<p>・Activity へと導入していく。</p> <p>→日本語と英語の音節の違いについて触れ、歌詞の作成をしやすいようにする。</p> <p>・クラスを8グループに分け、4種類別の雰囲気音楽を聞かせる。</p> <p>→1曲を2チームが担当することで、グループごとの比較ができる。</p> <p>・その曲の雰囲気を自由に感じてもらい歌詞をグループで考えてもらう。</p> <p>・歌詞の条件として Lesson5 の文法事項（さまざまな不定詞、seem to do/seem to have + 過去分詞）を使用することとする。</p> <p>・大体5文くらいで歌詞を作成してもらい、1人1文を担当することを条件とする。</p>	ワークへの参加	
3	洋楽リスニング (10分)	<p>・教室の雰囲気づくりとして、1時間目と同じように洋楽リスニングを行う。</p>	ワークシート	
	発表準備 (10分)	<p>・発表に向けての最終調整を行う。</p>		
	発表 (25分)	<p>・発表している間、他の生徒は聞きながら聞き取れた内容を書く (メモ)</p> <p>・次にペアで歌詞の意味確認をする。</p> <p>・最後に歌詞の意味などを発表してもらう。</p> <p>・2つ前のグループの代表が、発表したグループにフィードバックを行う。</p> <p>・この流れを1グループ3分で行う。(24分)</p>	発表内容 ワークシート	ワークシート
	総評+Lesson5 まとめ (5分)	<p>・発表に対してのコメントをする。</p> <p>・時間が余れば lesson5 の内容を再確認する。</p>		

(5) 授業計画作成時の資料（教師が参考にしたもの）

- ・「学ぶ・教える・考える」ための実践的英語科教育法（大修館書店）
- ・動機づけを高める英語学習ストラテジー（大修館書店）
- ・英語歌の授業活用（中田ひとみ,2022）

(6) 準備物

- ・ワークシート
- ・スピーカー

9. 指導者による反省

10. 指導教員による講評

高等学校 ホームルーム活動実習 指導案

指導者
指導担当教員

1. 日時 令和 6年 6月 5日 (水曜日) 第 5限
2. 学年・組 普通科特進クラス 2年 13組
3. 場所 2A13 教室 (5階)
4. テーマ

Self-Worth

5. テーマ設定の理由

授業などを観察していて、生徒の自己肯定感が低い傾向にあることを感じ、自分に自信を持てるような取り組みを行いたいと感じたから。また、周りと同じでなければいけないといった集団心理が日本の教育課題だと感じているため、人によって考え方などは違うことは当たり前であるということから、自分自身の個性やアイデンティティの尊重に繋がりたい。

6. ねらい

1 人一人が他人と違った個性を持っていることを認識し、自身を獲得することを目的とし、またいろいろな価値観や考え方があることを学び、多様性への理解を目指す。

7. 準備

教師	スライド スピーカー ワークシート
生徒	色鉛筆

8. 本時の展開

区分	学習活動と内容	指導上の留意点・支援・評価	準備物・資料等
導入① (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ・1つテーマを指定して、みんなに絵をかいてもらう。 ・グループに分けて絵の違いを体感してもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1つのイメージでも人それぞれイメージして描くことが違うことを伝える。 テーマ「無人島に持っていきたい1番大事にしているものは？」 授業の最初にルールを伝える。 発表の際はルールを設ける。 ① 勇気を出して一歩踏み出して、発表は積極的に 	

		・発表の姿勢や内容などを見る。	
まとめ (5分)	伝えなかった事などまとめる 授業の感想を書いてもらう	授業の感想を記入してもらう。 →何を学んだかなど感じたことを記入してもらう。	

9. 指導者による反省

10. 指導教員による講評